

ダイオキシン類の環境調査結果について（平成30年度分）

ダイオキシン類対策特別措置法第26条の規定に基づき、高松市が平成30年度に実施したダイオキシン類の環境調査結果は次のとおりです。

● 調査地点

- 1 大気（一般環境・沿道・発生源周辺） 3地点（4回/年）
- 2 公共用水域河川水質 12地点（1回/年）
- 3 公共用水域河川底質 4地点（1回/年）
- 4 地下水質 4地点（1回/年）
- 5 土壌 4地点（1回/年）

● 測定結果の概要

- 1 大気（一般環境・沿道・発生源周辺）
調査結果の年間平均値は、一般環境では0.012pg-TEQ/m³、沿道では0.0095pg-TEQ/m³、発生源周辺では0.011pg-TEQ/m³であり、環境基準値（0.6pg-TEQ/m³）未満でした。
- 2 河川水質
調査結果は、0.037～0.60pg-TEQ/Lであり、環境基準値（1pg-TEQ/L）未満でした。
- 3 河川底質
調査結果は、0.21～10pg-TEQ/gであり、環境基準値（150pg-TEQ/g）未満でした。
- 4 地下水質
調査結果は、0.016～0.053pg-TEQ/Lであり、環境基準値（1pg-TEQ/L）未満でした。
- 5 土壌
調査結果は、0.034～0.48pg-TEQ/gであり、環境基準値（1000pg-TEQ/g）未満でした。

● 地点別測定結果

- 1 大気測定結果（pg-TEQ/m³）

測定地点	所在地	年間平均値	測定値	大気環境基準値
一般環境 木太南コミュニティセンター	木太町	0.012	0.0058～0.015	0.6以下 (年間平均値)
沿道 栗林公園前測定局	栗林町	0.0095	0.0063～0.015	
発生源周辺 福岡ポンプ場（旧施設管理センター）	福岡町	0.011	0.0065～0.014	

2 河川水質測定結果 (pg-TEQ/L)

水域名	測定地点	測定値	水質環境基準値
牟礼川	国道 11 号線交差点	0.46	1 以下 (年間平均値)
相引川	大橋	0.21	
新川	新川橋	0.21	
春日川	春日川橋	0.11	
詰田川	木太大橋	0.42	
御坊川	観光橋	0.21	
杣場川	楠上水門	0.60	
摺鉢谷川	水道橋	0.28	
香東川下流	香東川橋	0.037	
香東川上流	岩崎橋	0.042	
本津川下流	香西新橋	0.16	
本津川上流	学校橋	0.18	

3 河川底質測定結果 (pg-TEQ/g)

水域名	測定地点	測定値	底質環境基準値
摺鉢谷川	水道橋	10	150 以下
香東川下流	香東川橋	0.23	
本津川下流	香西新橋	0.27	
本津川上流	学校橋	0.21	

4 地下水質測定結果 (pg-TEQ/L)

測定地点	測定値	水質環境基準値
男木町	0.053	1 以下 (年間平均値)
川部町	0.016	
屋島東町	0.016	
塩江町上西甲	0.016	

5 土壌測定結果 (pg-TEQ/g)

測定地点	測定値	土壌環境基準値
男木町	0.48	1,000 以下
川部町	0.034	
屋島東町	0.18	
塩江町上西甲	0.12	

(参考) 全国の平成29年度ダイオキシン類環境測定結果 (抜粋)

区 分		平成29年度		
		地点数	平均値	測定値範囲
大気	pg-TEQ/m ³	629	0.019	0.0033 ~ 0.32
公共用水域水質	pg-TEQ/L	1,442	0.17	0.010 ~ 1.7
公共用水域底質	pg-TEQ/g	1,205	6.7	0.043 ~ 610
地下水質	pg-TEQ/L	498	0.049	0.0071 ~ 0.66
土壌	pg-TEQ/g	835	3.4	0 ~ 150

(用語解説)

- (1) ダイオキシン類：PCDD(ポリ塩化ジベンゾ-パラジオキシン)、PCDF(ポリ塩化ジベンゾフラン)及びCo-PCB(コプラポリ塩化ビフェニル)を含めたものを示します。
- (2) pg (ピコグラム)：1兆分の1グラム
- (3) TEQ：ダイオキシン類は各異性体の毒性が異なるため、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラジオキシンの量に換算して合計した毒性等量 (TEQ) により表したものを示します。2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラジオキシンの毒性への換算は、測定により得られるダイオキシン類の各異性体の濃度に毒性等価係数 (TEF) を乗じて合計します。この際用いる毒性等価係数は、WHO-TEF (2006)です。

<お問い合わせ先> 高松市環境指導課 087-834-5755